

## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月13日

上場会社名 SBIインシュアランスグループ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7326 URL <https://www.sbiig.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員会長兼社長 (氏名) 乙部 辰良  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 大和田 徹 TEL 03 (6229) 0881  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月20日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月20日  
 決算補足説明資料作成の有無: 有  
 決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績 (2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	66,388	6.8	2,131	101.2	851	17.6
2018年3月期	62,186	-	1,059	-	724	-

(注) 包括利益 2019年3月期  $\Delta$ 600百万円 (-%) 2018年3月期 392百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	経常収益 経常利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	40.81	-	2.5	1.2	3.2
2018年3月期	38.49	-	2.4	0.6	1.7

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 -百万円 2018年3月期 -百万円

(注) 当社は、2018年6月26日付で普通株式1株につき30株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	173,587	38,450	22.1	1,679.10
2018年3月期	167,496	31,041	18.5	1,642.99

(参考) 自己資本 2019年3月期 38,317百万円 2018年3月期 30,921百万円

(注) 当社は、2018年6月26日付で普通株式1株につき30株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	620	$\Delta$ 9,637	7,946	26,848
2018年3月期	$\Delta$ 8,586	18,650	-	27,909

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2019年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 2020年3月期の配当予想額は未定であります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

2019年3月12日公表の「当社子会社による株式取得(孫会社化)に関するお知らせ」のとおり、当社の連結子会社であるSBI少短保険ホールディングス株式会社は、関係当局の承認を前提に、ペット保険を提供する日本アニマル倶楽部株式会社を子会社化する予定であります。

現在、日本アニマル倶楽部株式会社の子会社化に向けた諸手続きを進めているところであり、2020年3月期の連結業績予想につきましては、当該子会社化に伴い発生するのれん等の金額及び償却年数が現時点では確定しないため、それらが確定し業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2019年3月期	22,820,530株	2018年3月期	18,820,530株
2019年3月期	—株	2018年3月期	—株
2019年3月期	20,869,845株	2018年3月期	18,820,530株

(注) 当社は、2018年6月26日付で普通株式1株につき30株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	477	35.3	42	75.2	23	36.4	21	99.0
2018年3月期	353	—	24	—	16	—	10	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	1.05	—
2018年3月期	0.58	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2019年3月期	38,253		38,174		99.7	1,671.86		
2018年3月期	30,221		30,139		99.7	1,601.41		

(参考) 自己資本 2019年3月期 38,152百万円 2018年3月期 30,139百万円

(注) 当社は、2018年6月26日付で普通株式1株につき30株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「1株当たり純資産」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
連結損益計算書	5
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

※ 当社は、2019年3月期連結決算についての機関投資家・アナリスト向け説明会を2019年5月13日に開催する予定です。当説明会資料につきましては、当社ホームページに掲載いたします。

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループの経営成績は、経常収益が66,388百万円（前年度比6.8%増加）、経常利益が2,131百万円（同101.2%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益が851百万円（同17.6%増加）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	経常収益			セグメント利益（経常利益）		
	2018年3月期	2019年3月期	増減率（%）	2018年3月期	2019年3月期	増減率（%）
損害保険事業	24,628	28,883	17.3	216	457	111.2
生命保険事業	22,278	20,635	△7.4	654	1,509	130.7
少額短期保険事業	15,409	16,974	10.2	549	652	18.8
報告セグメント計	62,316	66,493	6.7	1,420	2,619	84.4
セグメント間消去又は調整	△129	△105	—	△360	△487	—
連結損益計算書計上額	62,186	66,388	6.8	1,059	2,131	101.2

（注）セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

#### （損害保険事業）

損害保険事業においては、収益力の向上及び規模の拡大に向けた取り組みの強化、並びに顧客の十分な信頼を得る運営体制の構築を目標に掲げております。こうした目標を踏まえ、ネット通販損保の特性を活かし、競争力のある保険料体系等を強みに顧客基盤の拡大に努めた結果、2019年3月末の保有契約件数は1,051千件

（前年度末比6.7%増加）となり、100万件を突破いたしました。また、自然災害等の影響により損害率は前年比で悪化しましたが、自動車保険契約の取扱いを代理店に一部移管するなどの施策により契約継続率の維持・向上に努めました。当事業における経常収益は28,883百万円（前年度比17.3%増加）、セグメント利益は457百万円（同111.2%増加）となりました。

#### （生命保険事業）

生命保険事業においては、2017年6月より、住信SBIネット銀行株式会社が提供する住宅ローンをご利用のお客様に、特約を充実させた団体信用生命保険及び「全疾病保障」の団体信用就業不能保障保険の提供を開始しており、販売が好調に推移しました。また、2018年6月より、地域金融機関とも提携し、提供を行っております。こうした取組みの結果、2019年3月末の保有契約件数は141千件（前年度末比16.4%増加）となりました。資産運用面では、保険金支払のため、長期的かつ安定的な運用収益の実現に努めました。当事業における経常収益は20,635百万円（前年度比7.4%減少）、セグメント利益は1,509百万円（同130.7%増加）となりました。

#### （少額短期保険事業）

少額短期保険事業においては、グループ各社間でのクロスセリングで幅広い商品ラインナップを実現し、順調に事業規模を拡大していることに加えて、少額短期保険のメリットである機動性を活かし、ペット保険等をはじめとした顧客ニーズを捉えた新商品開発や商品改定に取り組んでおります。また、引き続き、新聞、ラジオ、テレビ等を中心としたマス媒体の露出を積極的に拡大するとともに、全国主要都市における代理店販売網の拡大に向けた取組みを推進した結果、2019年3月末の保有契約件数は675千件（前年度末比8.0%増加）となりました。当事業における経常収益は16,974百万円（前年度比10.2%増加）、セグメント利益は652百万円（同18.8%増加）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、173,587百万円（前年度末比6,091百万円増加）となりました。主な勘定残高は、有価証券123,618百万円（同5,595百万円増加）、現金及び預貯金27,685百万円（同1,035百万円減少）であります。

当連結会計年度末における負債は、135,136百万円（同1,318百万円減少）となりました。主な勘定残高は、保険契約準備金123,975百万円（同2,555百万円減少）であります。

当連結会計年度末における純資産は、38,450百万円（同7,409百万円増加）となりました。主な増加要因は、公募増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,996百万円増加したことあります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に、保険金、年金、解約返戻金等の保険契約上の支払金や事業費等に係る支出を上回る保険料の収入により620百万円の収入超過（前年度は8,586百万円の支出超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に、有価証券の取得による支出により9,637百万円の支出超過（前年度は18,650百万円の収入超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に、東京証券取引所マザーズ上場時の公募による株式の発行による収入により7,946百万円の収入超過（前年度における該当事項はありません）となりました。

これらの結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,061百万円減少し、26,848百万円となりました。

(4) 今後の見通し

2019年3月12日公表の「当社子会社による株式取得（孫会社化）に関するお知らせ」のとおり、当社の連結子会社であるSBI少短保険ホールディングス株式会社は、関係当局の承認を前提に、ペット保険を提供する日本アニマル倶楽部株式会社を子会社化する予定であります。

現在、日本アニマル倶楽部株式会社の子会社化に向けた諸手続きを進めているところであり、2020年3月期の連結業績予想につきましては、当該子会社化に伴い発生するのれん等の金額及び償却年数が現時点では確定しないため、それらが確定し業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

なお、当該子会社化（取得による企業結合）の概要については、12ページの「追加情報」に記載しておりますので、ご参照ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。国際会計基準（IFRS）の適用については、保険契約に係る会計基準や関係当局の動向等を注視しながら検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	28,720	27,685
買入金銭債権	—	200
金銭の信託	3,099	3,090
有価証券	118,023	123,618
貸付金	446	303
有形固定資産	341	387
建物	135	164
リース資産	39	58
その他の有形固定資産	165	164
無形固定資産	2,940	3,620
ソフトウェア	2,273	2,993
のれん	665	625
その他の無形固定資産	1	1
代理店貸	139	217
再保険貸	3,213	3,578
その他資産	9,376	9,303
繰延税金資産	199	87
支払承諾見返	1,000	1,500
貸倒引当金	△4	△4
資産の部合計	167,496	173,587
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	126,531	123,975
支払備金	12,706	15,613
責任準備金	113,659	107,644
契約者配当準備金	164	717
代理店借	286	257
再保険借	2,959	3,401
その他負債	5,216	5,517
退職給付に係る負債	14	19
価格変動準備金	432	452
繰延税金負債	16	12
支払承諾	1,000	1,500
負債の部合計	136,455	135,136
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,240	7,236
資本剰余金	26,926	30,922
利益剰余金	715	1,567
株主資本合計	30,881	39,725
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40	△1,407
その他の包括利益累計額合計	40	△1,407
新株予約権	—	21
非支配株主持分	119	111
純資産の部合計	31,041	38,450
負債及び純資産の部合計	167,496	173,587

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
経常収益	62,186	66,388
損害保険事業	24,588	28,836
保険引受収益	24,366	25,798
正味収入保険料	24,353	25,784
積立保険料等運用益	13	14
資産運用収益	134	808
利息及び配当金収入	86	688
金銭の信託運用益	49	—
売買目的有価証券運用益	1	86
有価証券売却益	4	—
有価証券償還益	—	3
為替差益	—	40
その他運用収益	4	4
積立保険料等運用益振替	△13	△14
その他経常収益	88	2,228
生命保険事業	22,261	20,616
保険料等収入	8,258	9,230
保険料	7,308	8,125
再保険収入	950	1,104
資産運用収益	7,282	4,242
利息及び配当金等収入	2,391	3,367
有価証券売却益	778	289
金融派生商品収益	348	—
為替差益	—	584
その他運用収益	0	0
特別勘定資産運用益	3,763	—
その他経常収益	6,719	7,143
少額短期保険事業	15,336	16,935
保険料等収入	15,246	16,756
資産運用収益	0	0
その他経常収益	90	179
経常費用	61,126	64,256
損害保険事業	24,386	28,370
保険引受費用	18,057	21,410
正味支払保険金	16,540	18,273
損害調査費	3,119	3,405
諸手数料及び集金費	△3,630	△3,195
支払備金繰入額	906	2,044
責任準備金繰入額	1,123	882
資産運用費用	60	77
金銭の信託運用損	—	59
金融派生商品費用	14	—
為替差損	33	—
その他運用費用	11	18
営業費及び一般管理費	6,263	6,873
その他経常費用	4	7

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
生命保険事業	21,531	19,111
保険金等支払金	17,742	13,319
保険金	1,549	1,323
年金	3,868	2,894
給付金	1,025	1,174
解約返戻金	8,890	5,192
その他返戻金	1,412	1,291
再保険料	995	1,442
責任準備金等繰入額	—	806
支払備金繰入額	—	806
資産運用費用	730	1,631
支払利息	1	2
有価証券売却損	—	273
金融派生商品費用	—	1,098
為替差損	681	—
貸倒引当金繰入額	0	1
その他運用費用	46	45
特別勘定資産運用損	—	209
事業費	3,031	3,279
その他経常費用	26	74
少額短期保険事業	14,848	16,287
保険金等支払金	8,857	9,869
責任準備金等繰入額	154	294
事業費	5,779	6,096
その他経常費用	56	26
その他	360	487
経常利益	1,059	2,131
特別利益	80	—
受取補償金	80	—
特別損失	131	27
固定資産処分損	7	6
減損損失	52	—
価格変動準備金繰入額	69	20
その他特別損失	1	—
契約者配当準備金繰入額	164	736
税金等調整前当期純利益	843	1,367
法人税及び住民税等	268	381
法人税等調整額	△150	132
法人税等合計	117	514
当期純利益	726	853
非支配株主に帰属する当期純利益	1	1
親会社株主に帰属する当期純利益	724	851



(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	726	853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△333	△1,453
その他の包括利益合計	△333	△1,453
包括利益	392	△600
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	390	△596
非支配株主に係る包括利益	1	△4

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	3,240	26,926	△8	30,157
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益			724	724
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	724	724
当期末残高	3,240	26,926	715	30,881

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	373	373	117	30,648
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				724
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△333	△333	1	△332
当期変動額合計	△333	△333	1	392
当期末残高	40	40	119	31,041

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	3,240	26,926	715	30,881
当期変動額				
新株の発行	3,996	3,996		7,992
連結子会社株式の取得による持分の増減		△0		△0
親会社株主に帰属する当期純利益			851	851
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	3,996	3,995	851	8,843
当期末残高	7,236	30,922	1,567	39,725

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	40	40	—	119	31,041
当期変動額					
新株の発行					7,992
連結子会社株式の取得による持分の増減					△0
親会社株主に帰属する当期純利益					851
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,447	△1,447	21	△8	△1,433
当期変動額合計	△1,447	△1,447	21	△8	7,409
当期末残高	△1,407	△1,407	21	111	38,450

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	843	1,367
減価償却費	849	929
減損損失	52	—
のれん償却額	40	40
支払備金の増減額 (△は減少)	△410	2,907
責任準備金の増減額 (△は減少)	△4,124	△6,014
契約者配当準備金繰入額 (△は戻入額)	164	736
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2	5
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	69	20
利息及び配当金等収入	△2,478	△4,056
金銭の信託関係損益 (△は益)	△49	59
有価証券関係損益 (△は益)	△785	△105
金融派生商品損益 (△は益)	△333	1,098
支払利息	2	2
為替差損益 (△は益)	715	△625
特別勘定資産運用損益 (△は益)	△3,763	209
有形固定資産関係損益 (△は益)	7	6
代理店貸の増減額 (△は増加)	△64	△77
再保険貸の増減額 (△は増加)	△1,410	△364
その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は増加)	△1,542	134
代理店借の増減額 (△は減少)	2	△28
再保険借の増減額 (△は減少)	450	442
その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は減少)	495	277
その他	5	5
小計	△11,268	△3,027
利息及び配当金の受取額	2,906	4,202
利息の支払額	△2	△2
契約者配当金の支払額	—	△184
法人税等の支払額	△221	△366
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,586	620

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預貯金の純増減額 (△は増加)	△0	△0
買入金銭債権の取得による支出	—	△200
金銭の信託の増加による支出	△50	△55
有価証券の取得による支出	△14,485	△40,225
有価証券の売却・償還による収入	34,523	32,304
貸付けによる支出	△117	△94
貸付金の回収による収入	251	244
その他	26	—
資産運用活動計	20,147	△8,026
営業活動及び資産運用活動計	11,561	△7,405
有形固定資産の取得による支出	△205	△100
無形固定資産の取得による支出	△1,252	△1,511
その他	△39	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	18,650	△9,637
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	7,928
新株予約権の発行による収入	—	21
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	7,946
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,023	△1,061
現金及び現金同等物の期首残高	17,885	27,909
現金及び現金同等物の期末残高	27,909	26,848

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

取得による企業結合

当社の連結子会社であるSBI少短保険ホールディングス株式会社は、2019年3月12日開催の取締役会において、関係当局の承認を前提に、日本アニマル倶楽部株式会社の株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：日本アニマル倶楽部株式会社

事業の内容：少額短期保険業（ペット保険の提供）

② 企業結合を行う主な理由

当社グループは、少額短期保険事業において、当社グループ内の少額短期保険会社3社による自律的な事業拡大に加え、外部企業とのM&Aによる事業拡大を戦略として掲げております。日本アニマル倶楽部株式会社は、急速な拡大を続けているもののいまだに普及率が低く、今後も拡大余地が大きいわが国のペット保険市場において、ペット保険を提供している少額短期保険会社であります。

日本アニマル倶楽部株式会社の子会社化は、事業拡大の貴重な機会を得ることができ、当社グループの成長をさらに加速させるものと判断し、同社の株式を取得することといたしました。

③ 企業結合日

子会社化に向けた諸手続きを進めているところであり、現時点では未定であります。

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

現時点での変更の予定はありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%（予定）

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の子会社が現金を対価として株式を取得することによるものであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預貯金	3,700百万円
取得原価		3,700百万円

(※) 上記取得原価は100%の議決権を取得した場合の予定額になります。

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

デューデリジェンス費用等 4百万円

(※) 現時点では確定していないため、概算額を記載しております。

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、SBI損害保険株式会社、SBI生命保険株式会社、及び少額短期保険会社3社の持株会社であるSBI少短保険ホールディングス株式会社を直接の子会社とする保険持株会社であり、これらの会社の経営管理等を行っております。傘下の子会社は、保険業法等の業種特有の規制環境の下にあり、各子会社においてそれぞれの経営戦略等を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は傘下の子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「損害保険事業」、「生命保険事業」、及び「少額短期保険事業」の3つを報告セグメントとしております。

- (1) 「損害保険事業」は損害保険業を行っており、SBI損害保険株式会社1社で構成されております。
- (2) 「生命保険事業」は生命保険業を行っており、SBI生命保険株式会社1社で構成されております。
- (3) 「少額短期保険事業」は少額短期保険業を行っており、SBI少短保険ホールディングス株式会社、SBIいきいき少額短期保険株式会社、SBI日本少額短期保険株式会社、及びSBIリスタ少額短期保険株式会社の4社で構成されております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

セグメント間の内部経常収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	損害保 険 事業	生命保 険 事業	少額短期 保 険 事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	24,588	22,261	15,336	62,186	—	62,186
セグメント間の内部経常 収益又は振替高	40	16	72	129	△129	—
計	24,628	22,278	15,409	62,316	△129	62,186
セグメント利益(注) 3	216	654	549	1,420	△360	1,059
セグメント資産	36,177	125,348	5,972	167,498	△2	167,496
その他の項目						
減価償却費	756	1	89	847	1	849
のれん償却額	—	—	40	40	—	40
利息及び配当金等収入	86	2,407	0	2,494	△15	2,478
支払利息	16	1	—	18	△15	2
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	1,018	124	94	1,237	0	1,237

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△360百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。
- (2) セグメント資産の調整額△2百万円は、セグメント間の債権債務等の消去額△632百万円及び当社の現金及び預貯金等の資産630百万円であります。
- (3) その他の項目のうち、「減価償却費」及び「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」は当社で計上したものであり、それらを除く項目はセグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益は連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	28,836	20,616	16,935	66,388	—	66,388
セグメント間の内部経常 収益又は振替高	47	19	38	105	△105	—
計	28,883	20,635	16,974	66,493	△105	66,388
セグメント利益(注) 3	457	1,509	652	2,619	△487	2,131
セグメント資産	46,989	120,011	6,599	173,600	△12	173,587
その他の項目						
減価償却費	808	40	78	927	2	929
のれん償却額	—	—	40	40	—	40
利息及び配当金等収入	688	3,383	0	4,071	△15	4,056
支払利息	15	2	—	18	△15	2
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	1,293	381	22	1,697	4	1,702

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△487百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

(2) セグメント資産の調整額△12百万円は、セグメント間の債権債務等の消去額△670百万円及び当社の現金及び預貯金等の資産657百万円であります。

(3) その他の項目のうち、「減価償却費」及び「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」は当社で計上したものであり、それらを除く項目はセグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益は連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。



(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	1,642.99円	1,679.10円
1株当たり当期純利益	38.49円	40.81円

- (注) 1. 当社は、2018年6月26日付で普通株式1株につき30株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。また、当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	724	851
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	724	851
普通株式の期中平均株式数(株)	18,820,530	20,869,845
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	2018年4月27日開催の取締役会決議による2018年5月31日付与の2018年第1回新株予約権(普通株式 750,000株)及び2018年第2回新株予約権(普通株式 710,700株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。